

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期第10回相模原市中央区区民会議（全体会）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和6年5月15日（水） 10時00分～11時35分		
開催場所	相模原市立産業会館 4階 特別会議室（国際商談室）		
出席者	委員	20人（別紙のとおり）	
	その他	0人	
	事務局	17人（中央区長、中央区副区長、他15人）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	開 会 1 報告 2 議題 (1) 提言書（案）について (2) 各グループの進捗状況について 3 その他 閉 会		

主な内容は次のとおり。(◎会長の発言 ○委員の発言 ●事務局の発言)

開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

— 傍聴希望者 なし —

1 報告

(1) 提言書の手交報告について

飯島会長より「地域資源を活用した移動支援に対する提言書」を3月27日に相模原市及び相模原市自治会連合会に対して手交した旨の報告を行った。

(2) 提言に対する取組状況について

事務局より「広報さがみはらに対する提言書」に関する相模原市（広聴広報課）の対応状況について報告を行った。

～小委員会（グループワーク）の開催～

※会議録については、各小委員会にて作成

2 議題

(1) 提言書（案）について

グループ1において取りまとめた「子どもの居場所づくりに対する提言書（案）」について事務局より説明を行った。

（主な意見等）

◎（会長）

この提言書の提言先は相模原市のどこの部署か。

⇒●（事務局）

子ども食堂と無料学習支援を担当する青少年学習センターが担当部署となる。

○（坂本委員）

現場の意見としては、学生ボランティアが大変重要である。しかし、学生ボランティアは周囲がサポートしなければ継続できない。一つ目として、経済的支援が大事である。例えば、相模原市社会福祉協議会において、ボランティアグループに対して年間10万円の補助を行っているため、このような団体に登録して支援を受けることができる。また、二つ目としては、周囲の地区社会福祉協議会がしっかりバックアップをするなどの体制を築いてほしい。

先日、学生ボランティアと話し合う機会があった。その中で、自分たちが卒業した後、続いていくのか心配であるとの意見があった。この問題をどのように克服していくのか検討していただきたい。

⇒●（事務局）

ボランティアの問題については、行政側で受け入れ体制を作るのか、既存団体側で作るのか等の話がグループワーク内で出されたが、結論は出なかった。いろいろな課題があるので、関係団体と協議しながら、どちらで受け入れ体制を構築するのがよいのかも含め、検討するよう提言するものです。

◎（会長）

大学内には様々な団体組織があり、その団体を後輩に継承していくことが難しくなっている気がする。伝統があるところは、OBも関わっており、継承されて残っていく傾向があるが、一般的な学生の同好会や特にボランティア関係のサークルについては、活躍した学生がいる時は良いが、その後、継承されていない状況があり、大学としても学生団体の存続が難しいと実感している。もう少し社会と一緒に取組むことで、広がりを持ち、次の世代へ継承していけるのではないかと思います。

○（山口委員）

学生ボランティアについて、補足資料では、「将来的に中学生、高校生も担い手となることの検討」としているが、既に地域では高校生がボランティアとして活動しているところがあるので、表現として、「既に高校生も担い手となっているが・・・」を追加してほしい。この補足資料では中学生や高校生がまだボランティアとして参加していないように捉えられてしまう。

⇒●（事務局）

今回の補足説明資料の抜粋ではこのように記載をしているが、実態として高校生等が地域でボランティアとして参加していることは承知しているため、補足説明資料の説明をした際に、「中学・高校生についても地域では担い手となっています」と明言しております。

◎（会長）

提言書として決定してよいか。

⇒○（委員）

異議なし

（2）各グループの進捗状況について

【グループ1】

●（事務局）

先ほど議題として諮った提言書（案）についての確認及び提言書と一緒に提出する補足説明資料の内容について議論を行った。

【グループ2】

●（事務局）

主に事務局より情報提供を行った。

一つ目は、全体会の冒頭に会長より情報提供のあった「地域資源を活用した移動支援に対する提言書」の手交について、グループ内でも情報提供を行った。

二つ目は、3月に交通政策課が作成した「さがみはら移動支援ブック」について、グループ2の中で出ていました「地域おでかけサポート推進事業」についても記載されているため、冊子の配布と情報提供を行った。

また、広報さがみはら5月15日号の表紙から2ページにかけて「日常生活の足を支えるコミュニティ交通」として移動支援の関係が掲載されておりますので併せて情報提供を行った。

三つ目は、前回の区民会議でも話題となりました、電動自走式ロープウェー「Zippar（ジッパー）」について、5月1日の神奈川新聞に、神奈川県と企業が実用化に向けた協定を締結したという記事が掲載されたので情報提供を行った。

【グループ3】

○（齊藤委員）

身近にあるみどりや生物多様性を保全し、都市の自然を次世代へ繋げていくことを進めるため、市で環境に関係する事業を所管しているゼロカーボン推進課と水みどり環境課に提言書を提出していく予定で検討を行った。

提言書の内容は大きく2つある。

一つ目は、みどりの大切さについてはみんな良く知っているが、自分たちがどのような行動をすれば良いのか分からない。例えば、すごくきれいだから大切に育てていた花が、実は自然環境を乱してしまう外来種であったりすることもある。そのため、自分たちが活動に繋げられるような講座を身近な会場で実施してほしい。

二つ目は、現在、様々な講座や情報を色々な機関が発信しているが、その情報が市民に届いていない、伝わっていない状況がある。そのため、情報発信に力を入れてほしい。実施する講座や催し、自然環境を守るための知識や情報をもっとたくさんの人に繋がるよう発信方法を工夫して実施してほしい。

この二点については、提言書としてまとめていく。
提言書の補足資料として、実施してほしい講座のテーマ等を例として取りまとめて、提言書とは別に作成する予定である。

4 その他
特になし

閉 会

以 上

第7期第10回相模原市中央区区民会議（全体会） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯 島 泰 裕	学識経験者（青山学院大学）	会 長	出席
2	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
3	小 川 紳 夫	相模原市公民館連絡協議会		出席
4	加賀谷育子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		欠席
5	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
6	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議	副会長	出席
7	斎 藤 奈 美	特定非営利活動法人 and Advance		出席
8	酒 井 志 保	相模原市PTA連絡協議会		出席
9	坂 本 洋 三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
10	清 水 洋 子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
11	代 田 修	田名地区まちづくり会議		出席
12	末 永 暁 子	横山地区まちづくり会議		出席
13	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		出席
14	高 橋 采 花	公募委員		欠席
15	田 所 豊	相模原交通安全協会		出席
16	丹 波 晴 道	清新地区まちづくり会議		出席
17	中 村 太 郎	相模原商工会議所		欠席
18	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会		出席
19	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会		欠席
20	森田麻里子	公募委員		出席
21	八 木 貴 弘	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
22	八 木 鉄 雄	星が丘地区まちづくり会議		出席
23	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議		出席
24	横 山 志 穂	公募委員		出席
25	割 柏 秀 規	光が丘地区まちづくり会議		出席